

東京の文化財

東京都教育庁生涯学習部計画課

目次

- 東京文化財ウィーク2007の御案内……………1
- 東京文化財ウィーク2006表彰事業……………2
- わがまちの文化財(練馬区)……………3
- わがまちの文化財(東久留米市)……………4
- 区市町村の新たな文化財指定から(大田区)…5
- 近代和風建築総合調査について……………6

東京文化財ウィーク2007の御案内

東京文化財ウィークとは

東京文化財ウィークとは、文化財（国指定及び都指定文化財）を保存している現地で、所有者等の管理のもと、11月3日の文化の日から第2日曜日までの間に通常は公開されていない文化財をはじめとして都内全域で文化財を公開し、都民の方に文化財に触れる機会を提供していく事業（公開事業）です。また、10月、11月に行われる区市町村教育委員会・民間事業者等が企画する文化財めぐり、文化財講座などの文化財に関連した事業を企画事業とし、文化財ウィーク参加事業として位置づけます。公開事業では、毎年400件近くの都内にある文化財を一斉公開しており、通常では見ることができない文化財や、いつでも見ることができるものでも、この期間中は、文化財の内容を紹介したはがき版の解説カードが現地に置かれ見学者が持ち帰ることができます。文化財ウィークの全体を紹介したガイドブック（文化財ウィークガイド）も作成し、区市町村教育委員等の窓口で配布します。

東京文化財ウィーク2007

今年度の文化財ウィークの実施期間は、下記のとおりです。

公開事業：平成19年11月3日から11月11日まで

企画事業：平成19年10月1日から11月30日まで

今年度の新たな公開事業参加の文化財には、平成19年6月18日、国の重要文化財(建造物)に指定された隅田川に架かる現役の橋である清洲橋、永代橋、勝鬨橋があります。清洲橋、永代橋は震災復興事業として当時の様々な最先端の技術、工法が採用されており、日本における近代土木発展の基



清洲橋

礎となる学術的価値を有しています。清洲橋は、永代橋との対比を持たせるために永代橋の豪壮雄大なアーチ橋に対して、力学的にも対照的な吊橋で、軽やかで優美な下垂曲線を持つデザインとなっています。勝鬨橋は、現存する大型の跳開橋として有名で、凱旋門の役目も持つ風格あるデザインが施されています。何気なく通行している橋にも文化財としての価値が見出されます。

重要文化財の公開では、これ以外にも「旧渋沢家飛鳥山邸 晩香廬、青淵文庫」（北区、公開日11月3・10日）、銅造阿弥陀如来立像（府中市、公開日11月3日）などの特別公開があります。また、東京都指定の文化財では、徳川家康寄進の大蔵経が納められていた「増上寺経蔵」（港区、内部公開日11月3-4日雨天中止）などが特別公開されます。『文化財ウィークガイド』にはこの他にもたくさんの情報があふれています。身近なところにも意外な文化財があります。文化財ウィークをとおして歴史と文化に触れあう時間を計画してみたいでしょうか。